

授業科目名	英語Ⅲ	※必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	外国語科目					
サブタイトル	リスニング・スピーキング		担当者	加藤 貴之		
講義概要	<p>【概要】簡単な逐次通訳ができる発信力及び異文化理解に必要な基本的な姿勢を養うことを目指す。シャドウイングや簡単な逐次・同時通訳、ドラマのシーン再現など、発話を意識したトレーニングを実施する。また、英語Ⅰ・Ⅱの内容の復習をしながら、基礎的な英語のライティング・リーディング・リスニング・スピーキングを総合的に養う。さらに、異文化に接する上で重要となるコンセプトを使用して日常の事例を分析する。</p> <p>【到達目標】非英語圏で発行される英字新聞記事のボキャブラリーレベルで、英語から日本語および日本語から英語の逐次通訳をできるようにする。また、異文化理解に必要となるコンセプトを日常に応用できるようにする。さらに、自分に合った学習計画を立てられるようにする。</p>					
履修条件	<p>1. 英語Ⅰ及びⅡの単位を取得済みであること、または、担当者の履修許可を得ること。</p> <p>2. 希望する時間帯の初回の授業に出席すること、できない場合は早めに担当者に相談すること。</p>					
教科書・参考書	<p>【教科書】資料配布</p> <p>【参考書】『異文化論への招待—「違い」からの自文化再発見』著：黒木雅子 / 出版：朱鷺書房</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、セルフチェックテスト					
2	文法復習					
3	ドラマ字幕トレーニング：シーンの確認					
4	ドラマ字幕トレーニング：実践					
5	確認テスト（1）					
6	確認テスト（1）					
7	エッセーライティング：構成について					
8	エッセーライティング：表現について					
9	エッセーライティング：オピニオンの作成					
10	確認テスト（2）					
11	通訳トレーニング：素材の確認					
12	通訳トレーニング：英日の逐次					
13	通訳トレーニング：日英の逐次					
14	確認テスト（3）					
15	試験対策					
評価方法	・確認テスト（30%）・期末試験（70%）、欠席は3回目以降1回につき3点減点とする。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	最初の授業に出席しないと履修できない場合がある。 ※（法学・スポーツ法）コースの学生は選択必修					